



2026年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2026年1月8日

上場会社名 日本BS放送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9414 URL <https://www.bs11.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 玉井 忠幸
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 松友 大輔 (TEL) 03 (3518) 1900
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第1四半期の連結業績 (2025年9月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期第1四半期	2,879	△0.5	388	△28.7	397	△27.6	260	△28.6
2025年8月期第1四半期	2,892	△2.1	545	44.4	549	45.0	365	47.1

(注) 包括利益 2026年8月期第1四半期 260百万円(△28.6%) 2025年8月期第1四半期 365百万円(47.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年8月期第1四半期	14.63	14.60	
2025年8月期第1四半期	20.51	20.49	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年8月期第1四半期	26,570		24,152		90.8	
2025年8月期	26,898		24,426		90.7	

(参考) 自己資本 2026年8月期第1四半期 24,133百万円 2025年8月期 24,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年8月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 30.00
2026年8月期	—	—	—	—	—
2026年8月期(予想)	0.00	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想 (2025年9月1日～2026年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
第2四半期(累計)	6,079	3.2	830	△28.4	858	△26.9	576	△28.2
通期	12,576	6.5	1,804	△6.6	1,888	△4.9	1,306	△2.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一 社 (社名) — 、除外 一 社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期 1Q	17,834,232株	2025年8月期	17,816,932株
② 期末自己株式数	2026年8月期 1Q	237株	2025年8月期	237株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年8月期 1Q	17,818,786株	2025年8月期 1Q	17,816,695株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかに景気回復しております。先行きについては、円安による物価上昇を背景とした個人消費の伸び悩みや米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響による景気の下振れリスク等に引き続き、十分注視する必要があります。

当社を取り巻くB Sデジタル放送業界は、動画配信サービス市場の拡大等で、ビジネスの機会が拡大する等、環境が大きく変化している中、テレビメディア広告費は、1兆7,605億円（前年比101.5%）となり、そのうち当社を含む衛星放送メディア関連の広告費は、1,254億円（前年比100.2%）となっております。（「2024年 日本の広告費」（株）電通調べ）

このような状況下、当社は「質の高い情報を提供することで 人々に感動を与え 幸せな社会づくりに貢献します」を経営理念として中長期的な成長を実現するため、重点施策「Value (バリュー) 4」を掲げ、「放送事業収入の最大化」「独自IPコンテンツの開発加速」「アニメビジネスの収益基盤拡充」「企業価値向上のための戦略的投資」をテーマに、放送事業に加え、配信事業やアニメ事業をはじめとした、その他の様々な施策に取り組みました。

【放送事業収入】

当第1四半期連結累計期間の放送事業収入は、2,512,660千円（前年同期比2.4%減少）となりました。

タイム収入は、番組スポンサーへのセールスや競馬中継、競輪等の公営競技のセールスが好調だったものの、ショッピングカテゴリの減少により、前年同期比減収となりました。スポット収入は、コンテンツの充実と番組編成の工夫が奏功し、純広スポットは好調に推移いたしましたが、通販スポットの市況の影響をカバーできず、前年同期比減収となりました。

重点施策「Value 4」における「放送事業収入の最大化」「独自IPコンテンツの開発加速」の下、コンテンツを中心とした投資を強化しており、当第1四半期より、報道番組『報道ライブ インサイドOUT』にて番組キャスターに近野宏明さんを迎える、番組セットやコンセプトを一新する等のリニューアルを行ったほか、（株）エフエム東京とのコラボレーションとして人気ラジオ番組の裏側を届けるドキュメンタリー番組『うらラジ supported by TOKYO FM』や、グループ会社の（株）理論社から出版された詩集を、歴史あるTOKYO FM 少年合唱団が歌い上げるレギュラーミニ番組『谷川俊太郎を歌う』の放送をそれぞれ開始いたしました。また、テレビ視聴者に人気の高いスポーツコンテンツにも注力し、『WBSC U-18女子ソフトボールワールドカップ』『2025年度 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会』『マイナビ ネクストヒロインゴルフトアーファイナル』等、多岐にわたるスポーツコンテンツを放送いたしました。このほか、独立放送局の特長を活かしたコラボレーション施策も推進し、『生中継！花火甲子園2025～愛知で唯一の花火競技大会～』をテレビ愛知と共同で制作、放送いたしました。

このほか、アニメ分野では「ANIME+」枠において、『終末ツーリング』『千歳くんはラムネ瓶のなか』『最後にひとつだけお願いしてもよろしいでしょうか』等、製作委員会参画作品を含むアニメ関連番組を毎クール約40タイトル放送。日中帯を中心とするドラマ枠では、『灼灼風流～宮中に咲く愛の華～』『三番目の結婚』『新・必殺仕置人』『新・赤かぶ検事奮戦記』等を放送し、同時間帯の視聴率も好調に推移しております。

【その他事業収入】

その他事業収入は、366,841千円（前年同期比14.8%増加）となりました。配信事業において、オリジナル配信プラットフォーム「BS11+」やTVerにおける広告配信収入等が好調に推移いたしました。特に、「BS11+」において、前年より新たに拡充した会員プラン「BS11+プレミアム」の限定コンテンツ『石見舞菜香・長谷川育美のふたりば』は、ファンの方を中心に大変好評をいただいており、会員数拡大を後押しするコンテンツとなりました。更に、イベント事業推進の一環として「我ら演歌第7世代！ BS11若手人気スター歌謡ショー2」を開催したほか、BS11×理論社・国土社「珠玉のドラマシリーズ」を立ち上げ、第1弾コンテンツとして（株）国土社刊行の児童書『雨上がりのスカイツリー』のドラマ化を進めています。

【費用】

放送事業収入の最大化及びその他事業収入の収益拡大に向け、今期よりコンテンツを軸とした積極的な投資を推進しており、既存コンテンツの内容強化や新規コンテンツの開発、良質なアニメコンテンツの確保等に取り組んでおります。また、こうしたコンテンツへの投資の効果を最大化すべく、新聞広告やWEB広告を中心にコスト効率を重視した宣伝戦略も展開しております。その結果、費用は2,490,992千円（前年同期比6.1%増加）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,879,501千円（前年同期比0.5%減少）となりました。営業利益は388,508千円（前年同期比28.7%減少）、経常利益は397,717千円（前年同期比27.6%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は260,738千円（前年同期比28.6%減少）となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ328,205千円減少し、26,570,150千円（前連結会計年度末比1.2%減少）となりました。主な要因は、現金及び預金が264,977千円、固定資産の減価償却が進み、有形固定資産が67,653千円とそれぞれ減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ54,536千円減少し、2,417,634千円（前連結会計年度末比2.2%減少）となりました。主な要因は買掛金が68,838千円、短期借入金が60,000千円、流動負債のその他に含めて表示している未払費用が37,297千円、賞与引当金が32,941千円とそれぞれ増加したものの、未払法人税等が194,038千円、流動負債のその他に含めて表示している未払金が57,015千円とそれぞれ減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ273,669千円減少し、24,152,516千円（前連結会計年度末比1.1%減少）となりました。主な要因は、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益260,738千円の計上により増加したものの、前連結会計年度の期末配当534,500千円により減少したことに伴い273,762千円減少したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の連結業績予想につきましては、2025年10月9日付の「2025年8月期 決算短信」で公表しました連結業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	13,988,777	13,723,799
売掛金	2,189,774	2,166,009
有価証券	299,918	299,980
棚卸資産	616,404	614,359
その他	128,466	121,495
流动資産合計	17,223,341	16,925,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,016,096	1,996,288
土地	4,034,756	4,034,756
建設仮勘定	9,130	—
その他（純額）	613,936	575,220
有形固定資産合計	6,673,919	6,606,265
無形固定資産	34,500	34,830
投資その他の資産	2,966,595	3,003,409
固定資産合計	9,675,015	9,644,505
資産合計	26,898,356	26,570,150
負債の部		
流动負債		
買掛金	923,513	992,351
短期借入金	80,000	140,000
未払法人税等	385,229	191,190
その他	954,035	961,916
流动負債合計	2,342,777	2,285,459
固定負債		
退職給付に係る負債	109,772	112,952
その他	19,620	19,223
固定負債合計	129,392	132,175
負債合計	2,472,170	2,417,634
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,190,714	4,198,322
資本剰余金	3,524,504	3,532,112
利益剰余金	16,676,803	16,403,040
自己株式	△234	△234
株主資本合計	24,391,787	24,133,239
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	543	619
その他の包括利益累計額合計	543	619
新株予約権	33,855	18,657
純資産合計	24,426,185	24,152,516
負債純資産合計	26,898,356	26,570,150

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位:千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
売上高	2,892,748	2,879,501
売上原価	1,421,600	1,585,776
売上総利益	1,471,147	1,293,725
販売費及び一般管理費	925,970	905,216
営業利益	545,176	388,508
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,732	5,248
受取派遣料	1,800	1,800
その他	621	2,569
営業外収益合計	4,154	9,617
営業外費用		
支払利息	54	332
その他	—	77
営業外費用合計	54	409
経常利益	549,275	397,717
税金等調整前四半期純利益	549,275	397,717
法人税、住民税及び事業税	196,051	172,060
法人税等調整額	△12,128	△35,081
法人税等合計	183,922	136,979
四半期純利益	365,353	260,738
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	365,353	260,738

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	365,353	260,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	76
その他の包括利益合計	△60	76
四半期包括利益	365,292	260,814
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	365,292	260,814
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループには、B Sデジタル放送事業以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	117,467千円	94,944千円